

平成25年度 燕市・西蒲原郡 学校保健 活動報告

部長 池藤 仁市

1 研究主題

生きる力を育む健康教育

2 研究の概要

(1) 第1回指導案検討会

- ① 期日：8月23日（金）会場：吉田産業会館
- ② 題材名 こころのイライラとんでいけ（学級活動
望ましい人間関係の育成）
- ③ 協議及び指導の内容

ア 保健学習で活用したプリントや板書などをうまく残して、本時の指導につなげるとよい。

イ 養護教諭の専門性、児童の実態、指導者の思いをふまえ、「話し方」か「リラクゼーション」かどちらの活動をふくらませるか検討するとよい。



(2) 第2回授業研究会

- ① 期日：11月26日（火）会場：小池小学校
- ② 題材名 心を落ち着かせる方法（学級活動心身ともに健康で安全な生活態度の形成）
- ③ 授業者 角田 友香里 教諭、西巻 亜希子 養護教諭
- ④ 指導者 県立教育センター教育支援課 脇川 恭子 指導主事

ア 授業の概要

イライラしたときや緊張した場面でどのような行動をとるか振り返り、心を落ち着かせるリラクゼーションの効果を知らせ、5種類の体験をさせた。その後グループ活動で、どんな場面で活用できるか話し合い、自分にあった対処方法を学習した。

イ 協議会

- ・保健学習での話し合い活動、その際使った短冊カードが本時で生かされていた。
- ・担任と学習場面での連携が有効であった。
- ・リラクゼーションの活動では、児童が興味を示し集中して取り組んでいた姿が見られた。
- ・導入が長かったため、話し合い活動後の自分の振り返りまでできなかった。そのため、自分のこととしてとらえることが不十分であった。

ウ 指導

- ・保健学習と関連させ、学級の実態を基にした指導内容であり有効であった。本時の学びが事後指導に発揮されると思われる。
- ・振り返りの時間を確保し自己決定を図るには、説明を吟味し、場面を短くテンポよく進めていく。
- ・児童に健康の学力を身に付けさせるために、保健学習や保健指導の実践を積み重ね、養護教諭の専門性を深める研修の継続を期待する。

3 成果と課題

事前の教材研究を入念にやり、授業者の役割や資料の準備を明確にして指導にあたることで、目標達成に近付けることができた。

事前検討会や当日の協議会で明らかになったことや指導を受けたことを共通理解して自校の実践に活かしていくことが課題である。